

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和3年度事業分)

施設名 山梨県立青い鳥老人ホーム
 所管課 福祉保健部 健康長寿推進課
 指定管理者 社会福祉法人山梨ライトハウス

1 指定管理者の推移

導入年度	平成18年度				
指定管理者名	出資法人	指定期間		委託料総額 (単位:円)	
社会福祉法人 山梨ライトハウス		H18.4.1	～ H28.3.31	10年	1,595,024,406
社会福祉法人 山梨ライトハウス		H28.4.1	～ R3.3.31	5年	713,361,845
社会福祉法人 山梨ライトハウス		R3.4.1	～ R7.3.31	4年	602,306,363

2 施設の概要

所在地	笛吹市春日居町小松855-192
設置年月日	昭和48年5月1日
設置根拠 (法律、条例等)	青い鳥老人ホーム設置及び管理条例
設置目的	居宅において養護をうけることが困難な高齢者のうち主として視覚障害者の福祉に係る業務を総合的かつ有機的に行うため青い鳥老人ホームを設置する。
主な業務の内容	(1)施設の維持保全業務 ・施設及び設備器具の維持保全に関する業務を行う。 (2)養護老人ホームに関する業務 ・老人福祉法第20条の4の養護老人ホームに関する業務を行う。 (3)特定施設入居者生活介護業務 ・介護保険法第8条第11項の特定施設入居者生活介護を行う事業及び同法第8条の2第11項の介護予防特定施設入居者生活介護を行う事業に関する業務を行う。
主な施設内容 (定員等)	○定員50名 ○敷地面積:4,248㎡ ○建築延面積:2,100㎡ ○建物の構造:鉄筋コンクリート造 一部2階建て ○施設の内容 居室(55室:各面積10.75㎡、計:591.25㎡)、地域集会室・霊安室(127.50㎡)、食堂(94.5㎡)、厨房(53.4㎡)、事務所(52.5㎡)、静養室(18.8㎡)、医務室(12.4㎡)、1・2階寮母室(24.99㎡)、宿直室(9.72㎡)、面会室(16.5㎡)、男・女浴室(38.92㎡)、特別浴室(10.91㎡)、1・2階洗濯室(26.79㎡)、理容室(9.1㎡)、談話室(62.56㎡)、その他(廊下等)(950.5㎡)、車庫(63.3㎡)、駐輪場(10.5㎡)、ごみ置き場(3.6㎡)
備考 (改築工事等の状況、一括管理施設等)	平成16年4月1日 移転新築 ・工事金額 783,331千円

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和3年度事業分)

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

年度 項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
収入合計	152,649,596	152,822,056	150,004,985	148,986,272	148,277,956	
支出合計	148,354,873	153,927,865	158,282,604	152,082,732	150,205,816	
収支差額	4,294,723	△ 1,105,809	△ 8,277,619	△ 3,096,460	△ 1,927,860	

4 利用状況、利用者満足度の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
利用実績	513人	526人	535人	489人	461人	年間延べ利用者数(契約入所者除く)
利用者満足度	◎	◎	◎	◎	◎	「満足」又は「どちらかといえば満足」の合計 ◎:80%以上 ○:60%以上80%未満 △:60%未満

5 運営目標の達成状況(令和3年度)

コロナ禍の影響が長期化し利用者の健康はもとより面会や各種行事の実施やボランティアの受け入れなど広範囲におよぶ中で、利用者の生活環境を維持し生きがい持てる健全で明るい老後を送れるよう、各入所者の状況を踏まえる中で設定した処遇計画に基づき、施設内での生活を中心として利用者支援に努めた。

6 施設所管課による総合的な評価及び指導事項(令和3年度)

コロナ禍の長期化により外部との交わりが困難な状況下、感染症対策を講じつつ事業計画どおりに業務を実施できている。利用者の安全・安心な生活はもとより、一人ひとりのニーズに寄り添ったケアがなされている。今後とも、利用者目線に立ったケアや介護に取り組んでいくとともに、利用者が達成感や充実感を得られるよう努められたい。

施策推進業務である月間・年間行事(一般行事)の開催業務及びクラブ活動業務について、目標値を上回る実績となり評価できる。

経営状況については概ね適正に運営されていると考えられ、ショートステイ及び契約入所の自主事業の促進のため、市町村への積極的な働きかけ、各種関係団体への周知・広報活動を実施している。経営の安定化という点からも空床利用の一層の促進が期待される所であり、引き続き周知・広報活動に力を入れること。

7 施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況(令和3年度)

視覚障害はもとより知的障害や認知症をはじめ多様な入所者の心身の状態を的確に把握し、それぞれのニーズに応じた介護支援を行い、利用者の老後の幸福という究極の目標が達成されるよう努めていく。
また、厳しい経営状況の中で、ショートステイ及び契約入所の自主事業を今後さらに充実させていくため、職員体制を含めたサービスの質も十分検討する中で、市町村や各種団体等に積極的にPRし、その利用促進を図っていく。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

施設名 山梨県立青い鳥老人ホーム
 所管課 福祉保健部 健康長寿推進課
 指定管理者 社会福祉法人山梨ライトハウス

1 利用状況 (単位:人、%)

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数	施設入所利用者	513	526	535	489	461
	利用者数合計	513	526	535	489	461
	目標値	600	600	600	600	600
	実績/目標割合	85.5%	87.7%	89.2%	81.5%	76.8%
	目標値の設定方法	定員50名×12ヶ月				
利用率	稼働率等(利用率)	85.5%	87.7%	89.2%	81.5%	76.8%
	稼働率等(利用率)の算定方法	利用者/施設の利用定員				

2 類似施設・近隣施設

名称・施設内容等	県内養護老人ホーム10か所のうち峡東地区 (1)養護老人ホーム光珠荘:定員50人(笛吹市) (2)養護老人ホーム晴風園:定員75人(山梨市)
----------	--

3 補修工事等の状況(令和3年度) (単位:円)

管	ライスロボ用炊飯器 入替え	259,820
管	給湯循環ポンプ 修理	128,700
管	ボイラー不着火 修理	107,800
管	キャラハン車検 整備料	85,504
管	2Fトイレ 修理 外10件	426,415

修繕等の負担区分(基本協定書): 1件60万円未満の修繕等は指定管理者が実施
 *ただし、上記にかかわらず、県の承認により、指定管理者が修繕等を実施することができる。

4 自動販売機設置状況等(令和3年度) (単位:円)

台数	選定方法	収入割合	収入額	仕入(支出)額

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

5 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
収入	A 収入額計	152,649,596	152,822,056	150,004,985	148,986,272	148,277,956
	施設利用料 (介護保険自己負担)	165,465			1,846,895	2,973,589
	指定管理委託料	142,643,876	146,502,914	149,263,518	128,017,238	116,074,363
	介護保険収入	1,489,185			16,622,055	26,762,301
	その他(前期末支払 資金残高、寄付金、 受取利息等)	8,351,070	6,319,142	741,467	2,500,084	2,467,703
支出	B 支出額計	148,354,873	153,927,865	158,282,604	152,082,732	150,205,816
	人件費	107,776,364	109,079,779	115,154,229	112,212,524	112,299,950
	給食費	13,671,833	13,495,022	13,578,643	12,694,062	11,473,590
	保健衛生費	1,016,803	709,101	997,847	948,134	816,126
	教養娯楽費	1,162,455	926,099	958,901	195,048	228,019
	日用品費	333,235	343,407	321,126	323,370	268,539
	本人支給金	309,483	251,787	726,617	1,482,977	2,069,924
	水道光熱費	6,458,185	7,955,734	7,132,641	6,412,380	6,505,867
	燃料費	2,194,000	2,338,140	2,245,760	1,898,010	2,784,916
	消耗器具備品費	1,860,423	1,157,820	1,093,662	1,393,555	931,099
	賃借料	822,199	740,536	601,218	797,370	1,031,265
	福利厚生費	908,992	921,654	838,638	580,029	536,567
	職員被服費	127,396	81,509	359,996	60,038	62,774
	研修研究費	467,300	308,420	385,870	4,000	
	事務消耗品費	753,330	516,221	561,836	291,600	274,100
	修繕費	1,427,999	2,191,348	826,879	1,424,288	1,008,239
	通信運搬費	451,666	522,708	544,008	528,254	467,579
	保険料	333,770	335,660	639,490	699,190	636,447
	その他	5,732,841	8,880,945	8,231,208	6,802,581	5,611,051
	外部委託費	2,546,599	3,171,975	3,084,035	3,335,322	3,199,764
	保守点検業務	2,302,849	2,955,225	2,868,035	3,225,322	3,089,764
	入所者検診	243,750	216,750	216,000	110,000	110,000
外部委託比率	1.7%	2.1%	1.9%	2.2%	2.1%	
県への納付金						
収支差額(A-B)	4,294,723	△ 1,105,809	△ 8,277,619	△ 3,096,460	△ 1,927,860	
一人当たり指定管理者委託料*	278,058.2	278,522.7	278,997.2	261,793.9	251,788.2	

* 指定管理者委託料÷利用者数(単位:円)

(参考)自主事業に係る収支状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
C 収入額計	921,850	450,920	285,730	364,490	6,782,033
D 支出額計	1,681,416	858,432	523,215	368,422	4,556,424
収支差額(C-D)	△ 759,566	△ 407,512	△ 237,485	△ 3,932	2,225,609

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

6 利用者満足度

実施方法等	<ul style="list-style-type: none"> ●設備・入浴・健康管理 <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年2月21日～令和4年3月15日 ・実施方法: 相談員, 支援員が利用者の居室で面接調査を行う。 ●食事 <ul style="list-style-type: none"> ・第1回目 令和3年7月13日～8月5日 回答者35名 ・第2回目 令和4年2月8日～2月26日 回答者34名 ・実施方法: 栄養士が利用者の居室にて行う。 			
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
①施設の設備について	91.2%	8.8%		
②行事等	82.4%	17.7%		
③食事	82.4%	8.8%	8.8%	
④入浴	91.2%	8.8%		
⑤健康管理	73.5%	20.6%	5.9%	
⑥利用者のケア	79.4%	20.6%		
⑦金銭管理	94.1%	5.9%		
⑧その他	79.0%	18.0%	3.0%	
施設全般の満足度	88.2%	11.8%		
利用者の 主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ①ナースコールが聞き取りづらい。 ②言葉遣いが荒い職員がいる。 ③コロナ禍で外出できないが、季節に合った行事を考えてくれるので、毎回楽しみにしている。 ④お願いしても返事ばかりで何もしてくれない。 ⑤食事があまり美味しくない。 			
利用者の意見 への対応	<ul style="list-style-type: none"> ①早めに修理するよう努めます。 ②職員には常に言葉遣いに気を付けるように指導していますが、今後も注意していきます。 ③今後も皆さんが楽しめるような企画を考えていきます。 ④利用者からの相談や要望を放置せず、迅速丁寧な対応を心掛けます。 ⑤献立や調理を工夫して、美味しい食事を提供していきます。 			

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

7 評価結果

項目	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	法令・事業計画等に基づき適正に業務を執行した。 施設の経年に伴い、修繕の必要な箇所が増加しており、状況に応じて順次対応していく必要がある。	事業計画に沿った業務が実施されている。利用者が安全・安心な生活を送ることができるよう、今後も日常的な点検を適切に実施し、施設の維持管理につとめられたい。
運営業務	利用者への個別支援・日常生活支援については、個別に作成したケアサポートプランに基づき適正に実施している。また各種行事・クラブ活動については、外出行事の実施およびボランティアの受け入れ等ができない状況ではあったが、職員主体による施設内行事の充実に努め、多くの利用者が参加した。厳しい状況の中ではあるが、利用者のニーズを把握し、心身の維持向上が図られるよう今後とも努めていきたい。	事業報告書及び現地確認の結果、各種行事については、施設外との交わりが困難な状況が長期化する中、職員主体で工夫して対応し、計画表に沿って積極的に実施されている。 今後も利用者のニーズに寄り添いつつ、創意工夫ある活動に期待したい。 また今後も、感染症対策については十全な対策を講じて事業を実施すること。
利用状況	利用定員50人に対して、76.8%の利用率で前年度81.5%から4.7ポイント下がった。年度当初41名でスタートし、その後4名が死亡により、1名が措置打ち切りで退所した。一方、新規入所者が5名あったが利用率が下がる要因となった。 なお、措置による入所者は、年度当初、41名であったが、年度末には39名と減少しており、それを補う形で2名の契約入所を受け入れた。今後とも空室対策として契約入所による利用促進に努めたい。	入所者の高齢化が進む一方、措置による新規入所者の獲得が困難な状況で、利用率の向上に向けて市町村担当部署や視覚障害者関係団体との情報交換及び周知活動に力を入れている。 措置入所者の増加が見込めない現状下、定員の20%まで受け入れることができる契約入所は空き室対策に有効なため、今後も契約入所の利用促進を進めてほしい。
収支状況	収入は利用者が減少したものの、一般型特定施設や契約入所の実施により改善傾向となった。 対して支出は、前年度より増加傾向であるが、職員の退職やコロナ禍の影響もあり比較的抑えられ、結果、収支差額が改善された。	支出については、着実な経費の節減に努めつつ適正な業務が執行されている。 今後ともサービスが低下することのないよう注意していくとともに、安定的かつ計画的な運営に努められたい。
自主事業	ショートステイ事業については、利用促進に努め適正に事業を実施している。昨年度は4件の新規利用があり、内2名は契約入所に結びついた。契約入所については、在宅生活者・各関係機関に周知を図ることで今後も利用促進に努めたい。	ショートステイ事業については、利用実績に関わらず、緊急的な保護の観点として受け皿としての役割は大きい。また、契約入所につながるきっかけとしても期待でき、今後も事業の活用と推進に期待したい。契約入所については、経営改善の一助として重要であり、今後も利用促進を進めてほしい。
利用者満足度	利用者の要望・苦情等については、可能な限り迅速な改善・対応を図る事で、利用者が安心して生活ができる環境作りを心掛けている。常に利用者目線のサービス提供を行っており、多くの利用者より高い評価を得ている。 常日頃から、職員、利用者間の信頼関係を築いていく中で、個々の利用者のニーズや声に耳を傾け、満足度の向上に努めていきたい。	調査結果からは利用者の高い満足度がうかがわれ、運営上の日々の工夫が反映されたものであると考えられる。 今後も、日常的な関係作りやコミュニケーションを通し、満足度の向上と一人ひとりにあった適切なケアの両立に努めること。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

8 施設所管課による定期評価結果

施策推進業務の内容	評価	改善内容
施設の利用促進業務	<p>施設の利用促進を図るため、年間入所者数を評価指標とし、目標値を261人に設定。</p> <p>市町村担当部署や視覚障害者関係団体との情報交換及び周知活動により、年間入所者数は261人となり、実績が目標と並ぶ結果となった。</p>	<p>今後も、市町村担当部署や視覚障害者関係団体との情報交換及び周知活動を促進する。</p>
月間・年間行事(一般行事)の開催業務	<p>利用者である盲老人の生活意欲向上のため、月間・年間行事の年間開催回数を評価指標とし、昨年度(令和2年度)の実績である35回を目標値に設定。</p> <p>例月及び四季ごとに、それぞれの季節に合った行事を実施し、年間開催回数は42回となり、実績が目標を上回る結果となった。</p>	<p>コロナ禍の厳しい状況の中ではあるが、利用者の要望を聞き、今後も利用者が満足される行事を実施する。</p>
クラブ活動業務	<p>利用者である盲老人の生活意欲向上のため、クラブ活動の活動回数を評価指標とし、昨年度(令和2年度)の実績である178回を目標値に設定。</p> <p>毎月、リズム体操・川柳・カラオケなどの活動を実施し、年間活動回数は246回となり、実績が目標を上回る結果となった。</p>	<p>常に利用者が元気に楽しく取り組めるよう発表の機会を提供していく。</p>
居室にこもりがちな虚弱の方へのケア	<p>居室にこもりがちな虚弱者とのコミュニケーションの場としてクラブ活動や食和会への参加を促進するため、クラブ活動及び食和会の年間参加人数を評価指標とし、昨年度(令和2年度)の実績である2,473人を目標値に設定。</p> <p>毎日お茶の時間を設け、声かけ誘導し会話してもらうなどの活動により、年間参加人数は2,767人となり、実績が目標を上回る結果となった。</p>	<p>利用者がとじこもりとならないよう、機会あるごとに声かけ、お茶会やクラブ活動、食和会に参加を促していく。また、居室にて話を伺っていく。</p>

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

9 管理体制(組織図)

令和3年4月1日現在

